

刊夕 日九十月二十



本日の要聞
一月十五日 二十日
一月十六日 二十一日
一月十七日 二十二日
一月十八日 二十三日
一月十九日 二十四日
一月二十日 二十五日
一月二十一日 二十六日
一月二十二日 二十七日
一月二十三日 二十八日
一月二十四日 二十日

座講識常
スキャンダルとは疑獄
醜聞の類、山口
縣電の何々、政黨が鐵
道の何々、鬼月スキャン
ダルの多々、世の中、軍
縮の反對に國防を名と
するの主張なども實
業家のスキャンダルか

平町の都市計畫區域

町會に附議決議を求む

内務省のシ問により...

地方委員會は來春開會

平町の都市計畫はその後縮縮
技手の手により着々計畫設計
を進められ都計區域、大幹線
路その他重要幹線事項は既に
内務省まで申請され大體來春
三月中には第一回地方委員會
を開催正式都市計畫案を決定
定來年度早々から計畫の實現
に着手する事になり一方青沼
町長多年の腹案である大平市
建設計畫も今年掉尾の町會に
於て正式委員會の成立を見る
管で兩者併合して一大躍進を
見るものと期待されてゐるが
今十九日内務省當局から平町
に宛てて申請した都計區域
に對し審問書が到着した即ち

平町會

二十六日頃に 招集の豫定

平町では今年掉尾の町會を大
體二十六日頃に招集する管で
ある

凶作地匡救工事に

除外された諸村不平

渡邊村から割當要求の陳情

各凶作農村からも續出か

(昨報)平土木監督所が郡下の
凶作地三坂、澤渡、永戸、箕輪
川前、入道野、田人、荷路夫
貝泊の九ヶ村に救済土木工事
を施行中で國庫からの補助金
も交付される事に決定したが
前記九ヶ村の外にも稲作は半
作程度の農村が多く殊に渡邊
村の如き約四分五厘作程度で
前記諸村に劣らない凶作の慘
状にあり土木監督所が渡邊村

植田町で

ヌレ米配給

植田町では關西地方風水害の
濡米七十俵を購入すべく申込
中であつたが昨十八日到着し
たので直ちに全町の貧困家庭
に一人當り五升の割合で配給
した

玉川村會招集

玉川村では十六日村會を開き

凶作地の救済に

営林署も片肌脱ぐ

最凶作地荷路夫に林道工事

郡下に於ける最凶作地荷路夫
村の慘状は三分作と言ふ稀有
の凶作であり土木監督所當局
の救済工事に着手して幸じて
村民は糊口してゐるが該工事
も村民の出役者豫想以上に多
く既に大半完了して今月中に
は竣工を見ることになつたが
舊歲末を控えて工事を終了し
る人夫の使役中絶は凶作に喘
ぐ村民を一層の飢饉に陥すも
のとして各方面が此の對策を
研究中であつたが植田町営林
署では工費約二千圓を投じて
同村から官行製炭所に通ずる
林道開鑿を計畫前記土木監督
所の救済事業直後から着工人
夫は全部現在の就役農民を使
用する事になつた斯くて同村
の慘状も幾分ながら匡救され
る事になつたので各も植田
町営林署當局の英斷を喜こんで
ゐる尚營林署が凶作農民救済
に乗り出したのは此れが最初で
あり平營林署でも同様に凶作地
三坂澤渡方面の農民救済に乘
り出すものと期待されてゐる

四倉町長等

水道視察

千葉の東金町へ

石城郡四倉町に於ける上水道
計畫は既報の如く既設視察地
を以てなつたが今十九日新妻
町長外左記土木委員五氏千葉
縣東金町敷設水道視察のため
出張した
土木委員須藤久太郎 長谷
川長太郎 豊田義隆 吉田
壽三郎 青木公丸 (以上)

七五三の語草

ころも霜月

(4) 満願莊主人
と云ふ主人の眼の前へ武士の
書いた半紙を差出しますると
見るともなしに見た主人ハッ
と顔色を動かした慌しく半紙
を取上げナニ〜
けさひらふころも霜月十五

四倉と久の濱町の

角網と敷網の係争

本年内に圓満解決の模様

四倉町と久の濱町の係争は纏れも
四倉町新聞記者團主催同町會
加へ去る初秋以來ごたごた中
であるが一月十七日久の濱漁
業組合新妻常務、岩手縣宮子
町の坂本常務、四倉漁業組
長菅波氏等平陸事務局に召集午
後二時から長時間に亘る取調
べあり来る二十日頃更に關係
者の取調である模様であるが
司直の取なしで本年末までに
任する事に決定した

老衰の病養祖母を

省みぬ扶養義務者

小社の中に獨り死を待つ哀れ

石城郡四倉町の木町鈴木庄次
郎假名の養祖母とめへさん
は家庭に相容れざる事情のた
め自家を離れて二十年前から
同町宇田上と仁井田境にある
山野邊一所有地内小社の中に
起臥しつゝ熱心な法華信者で
世の同情により今日まで暮し
て来たが昨今老衰に陥り始め
ど身の自由を失ひて獨り死を
まつのみを衰れな境遇になつ
たを見て前記の地主外隣人が
右庄次郎方へ引取るやう促し
てゐるが扶養義務者の妻女は

飯場頭と輩下一味

傷害罪で送検さる

監獄部屋事件後報

(既報)永戸村小玉川發電所の
監獄部屋事件はその後平署特
高渡部警部補係りで飯場頭四
谷武雄(四谷家は誤り)以下關係
者を召喚嚴重取調を進めた結
果被害者の申立による監獄部
酒盛じやア、お客様達はな
せお出が遅いのぢや番頭と
ん早く迎の人を出して下さ
いア、目出度い目出度い
と今迄の不機嫌は何處へやら
あたふたと太田武士を迎へに
店頭へ走りまじたとサ
注(けさは袈裟と今朝に通
ひ(ころも)は衣と頭もに通
ふ珠数の珠数は百〇八ヶな
り

赤井村の

縣道編入

委員出福

赤井村から好間村川中子に通
ずる舊縣道の縣道編入は屢々
地方民から要望されてゐたが
格付村長松崎治村議以下三
名の委員は十八日出福草野縣
議の案内で縣土木課並に開會
中の縣會へ陳情運動をなした

刑事展參觀

午前は團體午後一般

二十四日から四日間十時で開
催される刑事展展覧會に參觀者
非常に多数に上る見込で殊に
有益な参考品が多数に出品さ
れるので平町所任各學校を始
め郡内各地小學校からの團體
參觀申込みがあるので開催期間

江名で底曳漁業

江名町では汽船の底曳漁業組
合設置の計畫が進められてゐ
たが愈々設置の諸手續り縣當局
に申請許可あり次第組合を創
立する事になり二十日午前十
時江名町漁業組合並に海産物
商同業組合の合同總會を組合
樓上に於いて開會委員を選定
して底曳漁業組合の創立許可
促進を縣に陳情する管で更ら
に漁業區域の擴張並海産物同
加工品の鐵道運賃値下割引を
鐵道當局に陳情の豫定である

店舖擴張移轉

皆様の御ひのきを頂いて居ります

製造販賣アサヒ靴店

世界館前に店舖擴張移轉致ました
御注文、修繕物 アサヒ靴店
ゴムグツ 各種

平町驛前大塚 宗吉

